

最近の管内経済概況

(2024年7月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、一進一退の動きとなっている。
- 個人消費は、改善の動きに足踏みがみられる。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱い動きとなっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2024年9月20日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2024年9月現在)

発表月	2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月	前月との判断比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	
個人消費	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	改善の動きに足踏みがみられる	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	増加した	減少した	増加した	増加した	減少した	増加した	
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数は同数、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている ～

7月の鉱工業生産は、前月比▲6.7%と2か月連続で低下した。前年同月比は▲0.7%と2か月連続で低下した。低下業種は、化学・石油石炭製品工業など9業種となった。上昇業種は、パルプ・紙・紙加工品工業など4業種となった。

< 7月 >

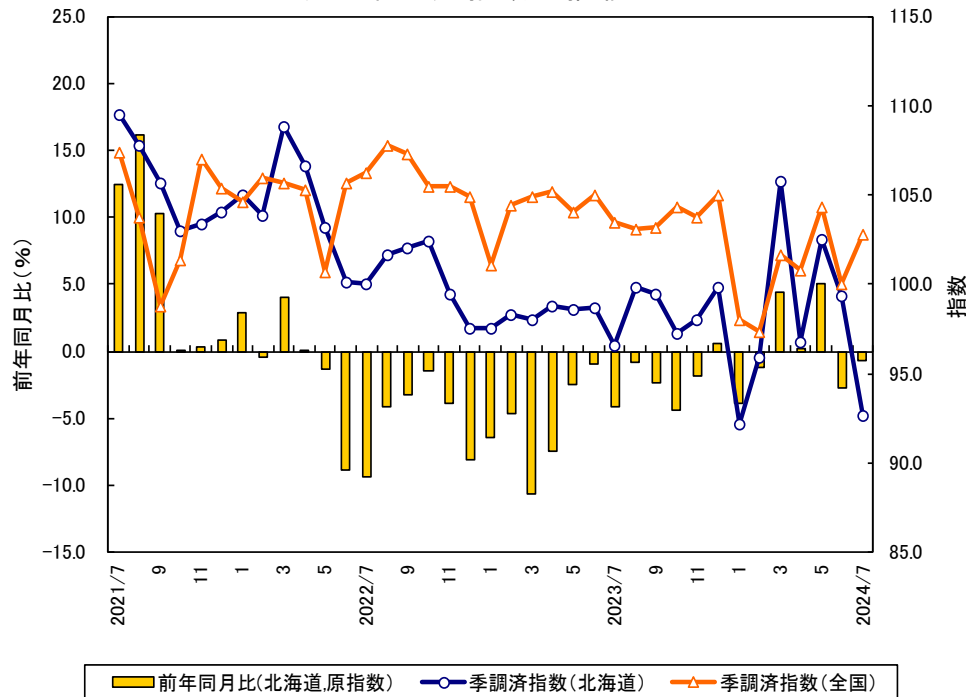
季節調整済指数

北海道（速報） 92.7（前月比▲ 6.7%）

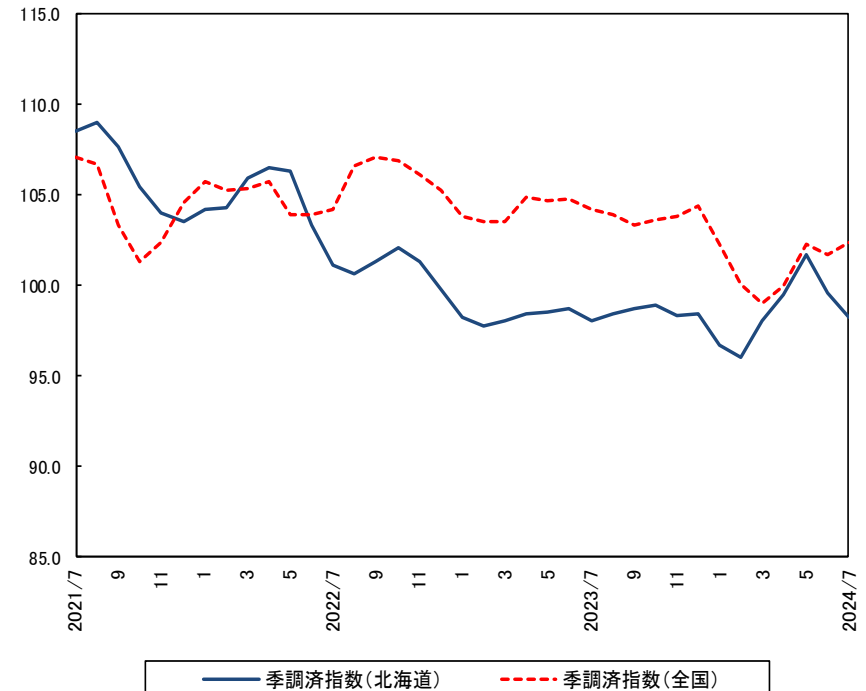
全 国（速報） 102.8（前月比+ 2.8%）

	業 種	前月比 (%)	前年同 月比(%)	主な品目
低下 9業種	化学・石油石炭製品工業	▲ 31.8	▲ 23.0	化学・石油石炭製品
	金属製品工業	▲ 17.5	▲ 7.3	建設用金属製品
	窯業・土石製品工業	▲ 9.8	+ 2.9	セメント・同製品
上昇 4業種	パルプ・紙・紙加工品工業	+ 9.9	▲ 1.3	洋紙

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



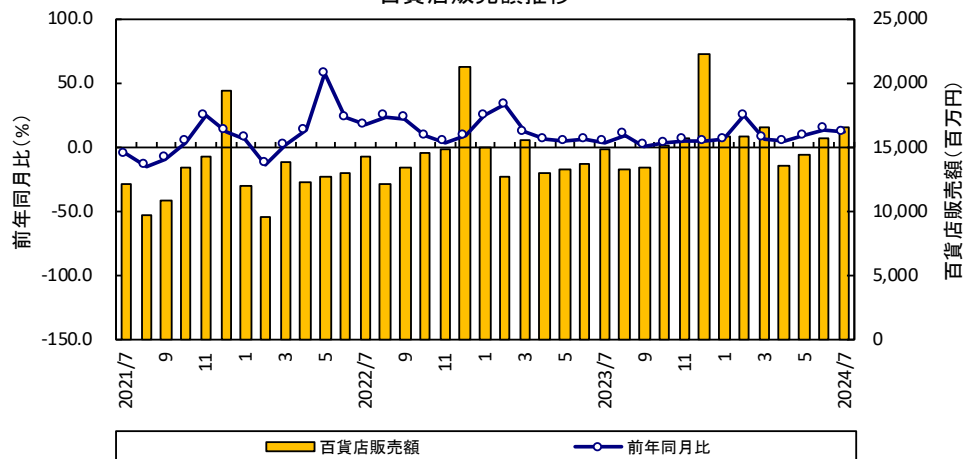
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 改善の動きに足踏みがみられる ～

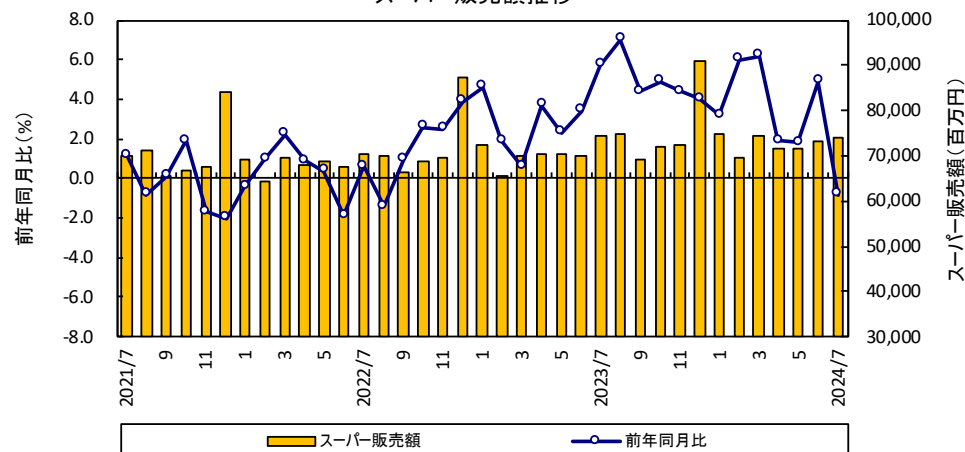
7月の個人消費は、百貨店、ドラッグストア、新車販売が前年を上回り、他の4業態は前年を下回った。

- ・百貨店は、高級ブランドの商品などの売上げが好調で、前年同月比+12.1%と29か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、買上点数などが伸び悩み、同▲0.8%と23か月ぶりに前年を下回った。
- ・コンビニエンスストアは、同▲2.4%と33か月ぶりに前年を下回った。

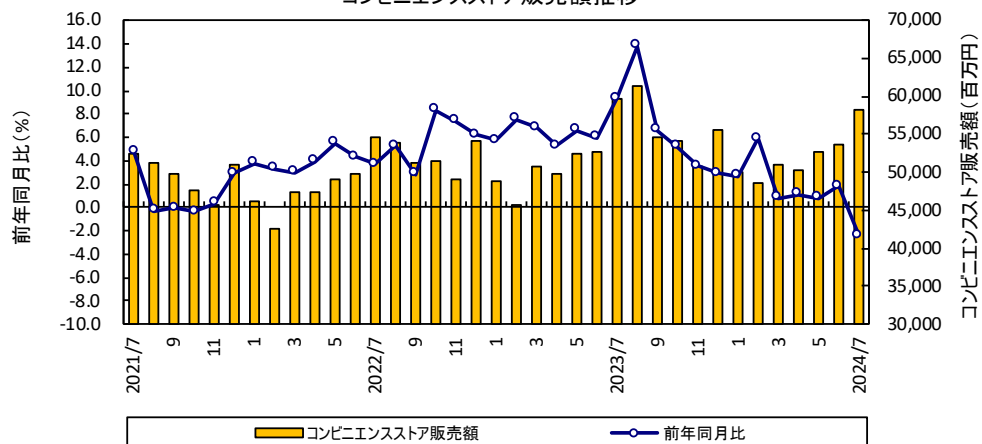
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

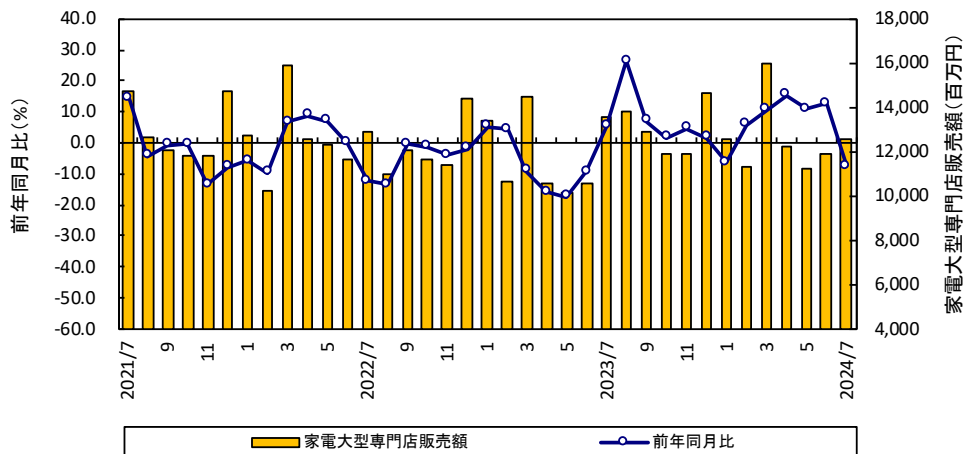


【ヒアリング内容】

- ・インバウンド向けに高級ブランドの商品や化粧品の売上げが伸長したほか、手土産需要から道産銘菓など菓子類の売上げが伸長した。また、日傘などは引き続き好調だった。(百貨店)
- ・客数と買上点数が伸び悩み、売上げは前年を下回った。惣菜や単価が上昇している米類の売上げは増加したものの、売上げが伸び悩む商品もみられた。(スーパー)
- ・客数と買上点数が伸び悩み、売上げは前年を下回った。前年売上げをけん引した飲料やアイスなどの売上げが前年ほど伸長しなかった。(コンビニエンスストア)

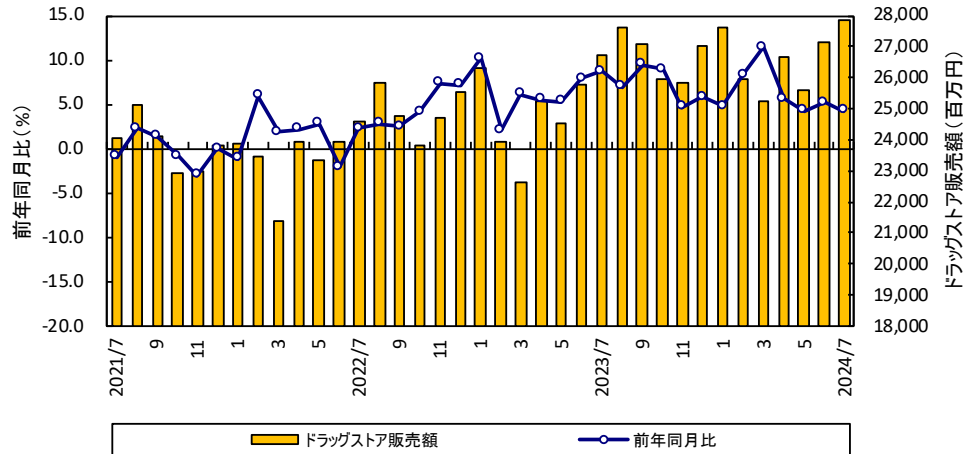
- ・家電大型専門店は、同▲7.5%と6か月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは、同+4.2%と25か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンターは、同▲2.4%と2か月ぶりに前年を下回った。
- ・新車販売は、同+9.0%と7か月ぶりに前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



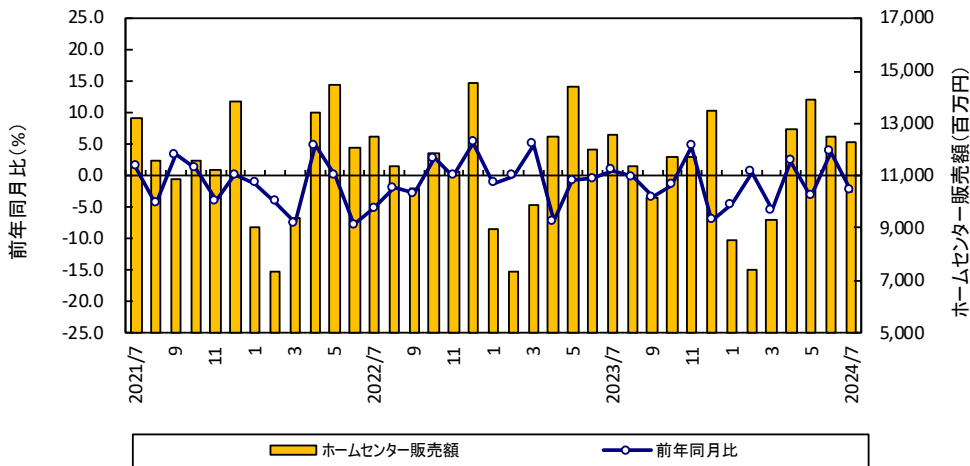
（資料：北海道経済産業局）

ドラッグストア販売額推移



（資料：北海道経済産業局）

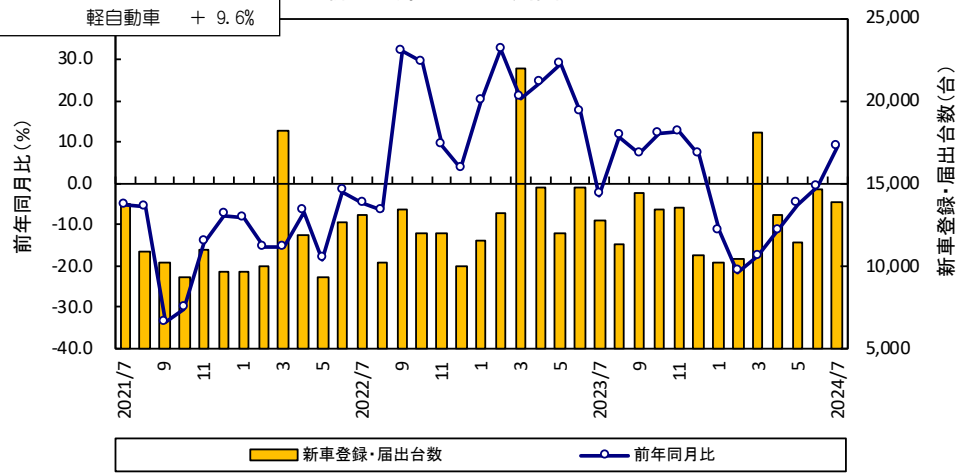
ホームセンター販売額推移



（資料：北海道経済産業局）

<7月> 普通乗用車 + 9.4%
小型乗用車 + 7.9%
軽自動車 + 9.6%

新車登録・届出台数推移



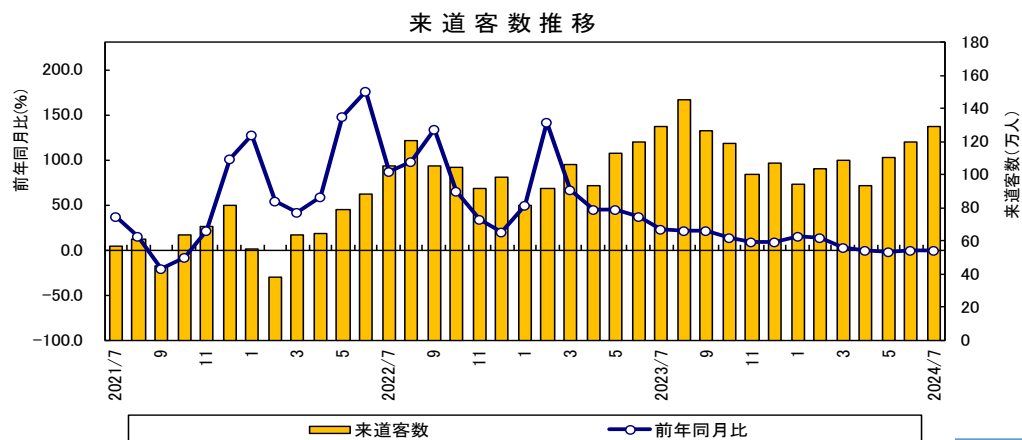
（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）

【ヒアリング内容】

- ・スマートフォンの売上げは引き続き伸長したものの、売上げをけん引していたエアコンが伸び悩み、売上げが前年を下回った。（家電大型専門店）
- ・インバウンドの売上げは医薬品などがよく売れたことから好調だった。また、値上げの影響が大きく日用品の売上げは伸長した。一方で、日焼け止めなどの季節性商品は伸び悩んだ。（ドラッグストア）
- ・値上げの影響から買上点数の減少や低単価商品への移行がみられ、売上げが前年を下回った。また、気温が高い日が続いた前年の反動もあり、扇風機などの夏物家電やレジャー用品などの売上げが伸び悩んだ。（ホームセンター）

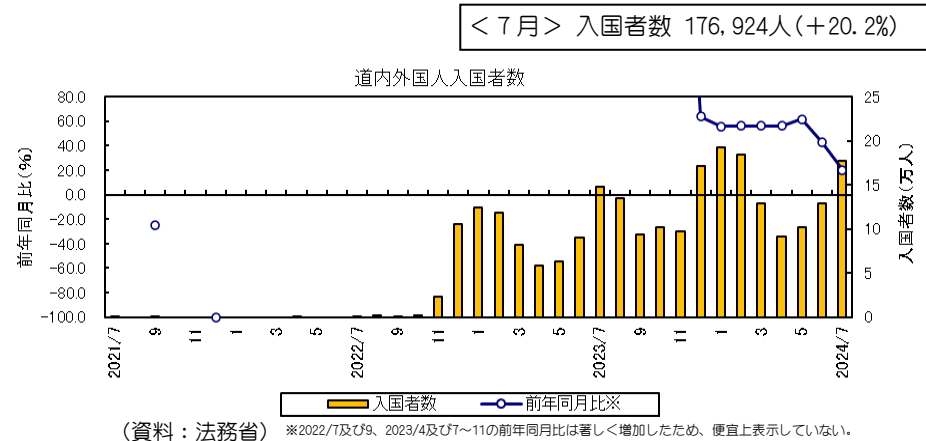
観光 ～ 改善している ～

7月の来道客数は、前年同月比▲0.2%と2か月ぶりに前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、同+20.2%と25か月連続で前年を上回った。



< 7月 > 来道客数 1,290,480人 (▲0.2%)
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

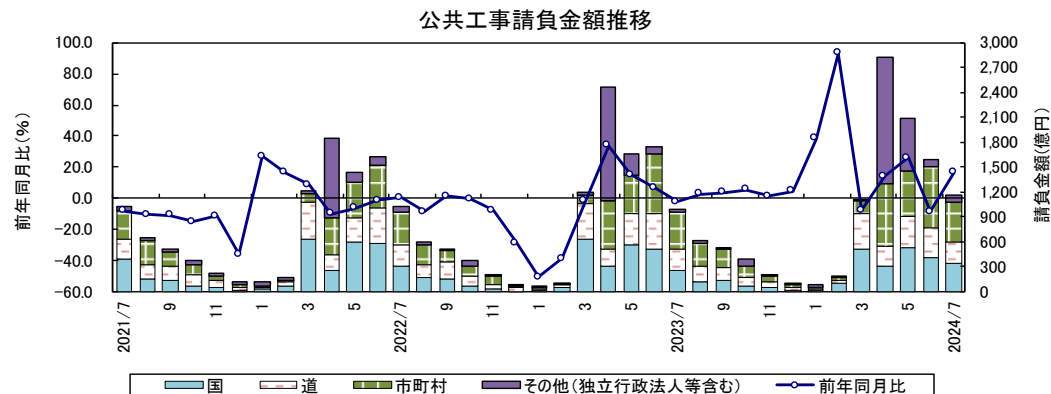
(資料：(公社)北海道観光機構)



・全体の宿泊数は昨年度と同程度だったが、国内観光客の動きは悪かった。韓国や台湾からの宿泊が好調で、国内観光客の減少をカバーしている。(観光協会)

公共工事 ～ 増加した ～

7月の公共工事請負金額は、道は前年を下回ったが、国、市町村で前年を上回り、前年同月比+16.3%と2か月ぶりに前年を上回った。



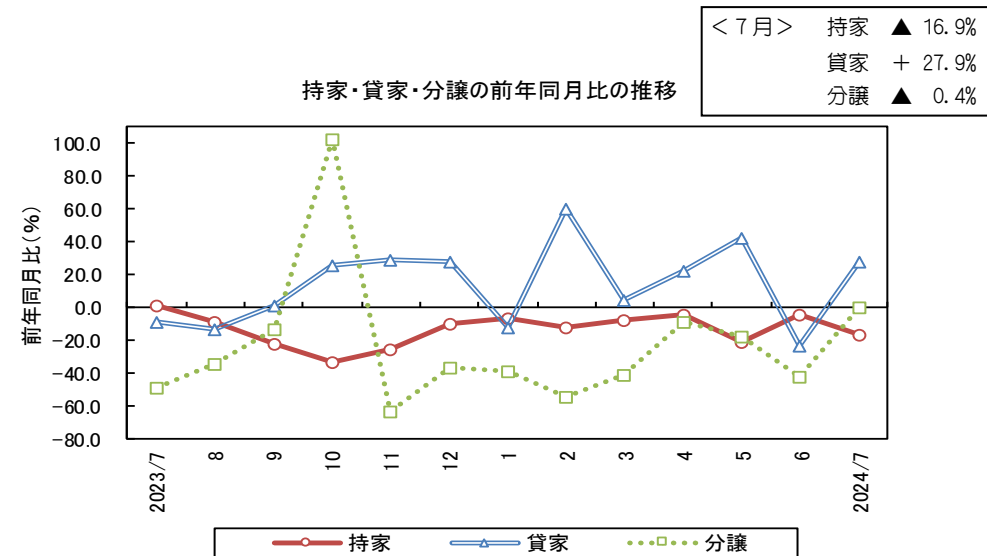
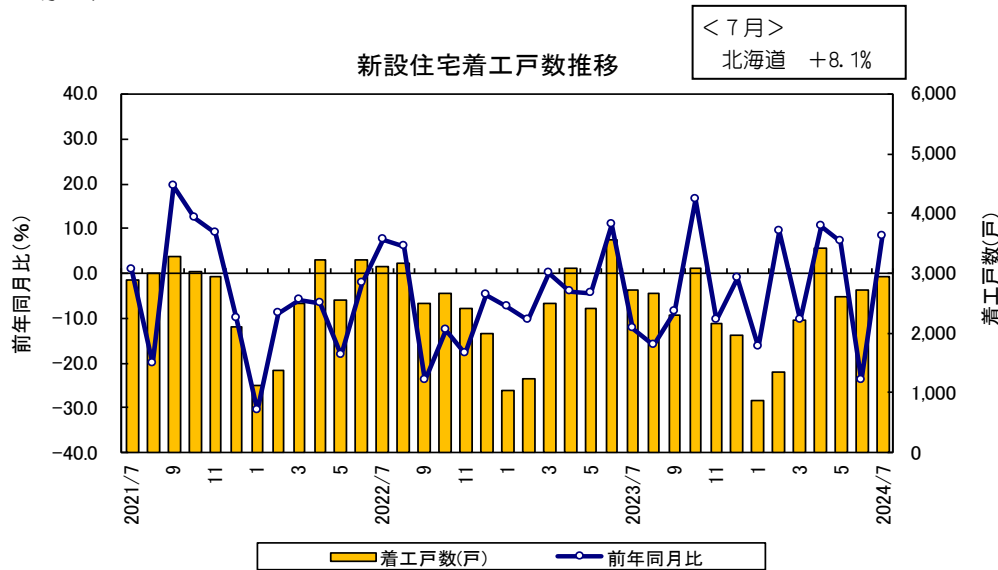
< 7月 >
 北海道 +16.3%
 (内 訳)
 国 +35.2% 道 ▲3.9% 市町村 +12.1% その他 +67.7%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

7月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲は前年を下回ったが、貸家は前年を上回り、前年同月比+8.1%と2か月ぶりに前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2024年度の設備投資計画は、全体で前年度比+23.1%と3年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2024年7月1日発表

	2023年度	2024年度
北海道	+ 3.0%	+ 23.1%
製造業	+ 24.6%	+ 35.5%
非製造業	▲ 4.7%	+ 17.4%
全国	+ 10.6%	+ 8.4%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2024年6月13日発表

	2023年度	2024年度
全産業	▲ 13.8%	+ 36.0%
製造業	+ 27.9%	+ 28.7%
非製造業	▲ 23.5%	+ 39.0%

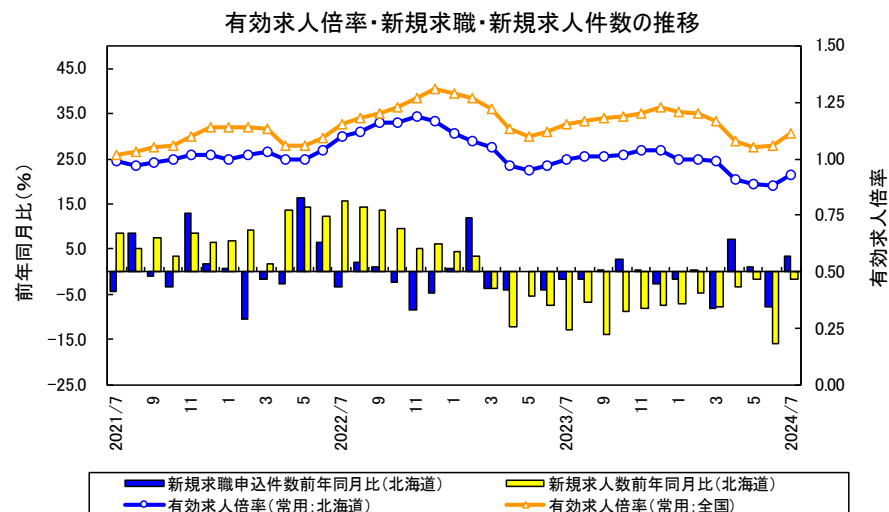
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

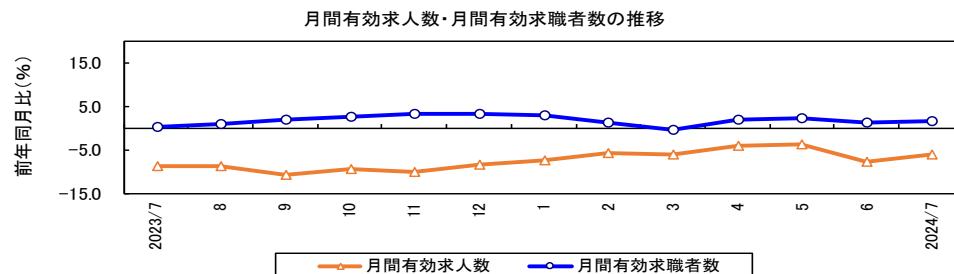
雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

7月の有効求人倍率は、0.93倍と前年同月差0.07ポイント低下し、16か月連続で前年を下回った。



< 7月 >			
北海道	有効求人倍率(常用)	0.93倍	
	新規求人件数(前年同月比)	▲1.6%	
	新規求職申込件数(前年同月比)	+3.3%	
	有効求人倍率(常用)	1.11倍	
全国	有効求人倍率(常用)	0.93倍	
	新規求人件数(前年同月比)	▲1.6%	
	新規求職申込件数(前年同月比)	+3.3%	
	有効求人倍率(常用)	1.11倍	

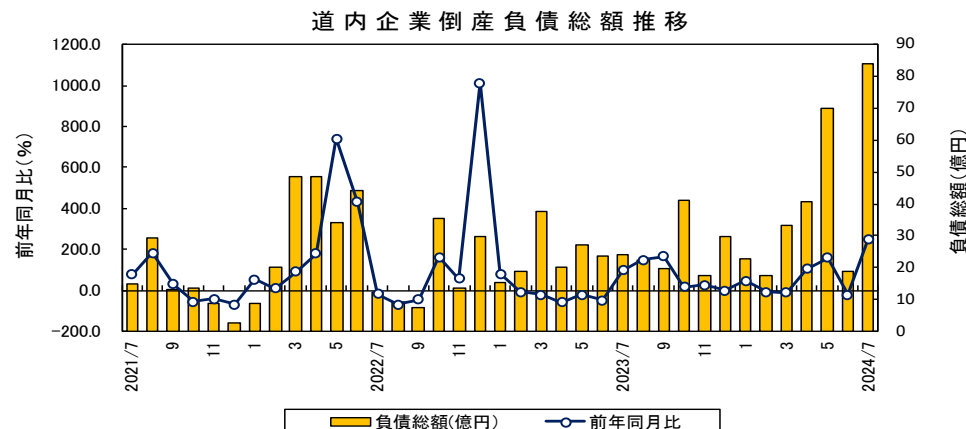
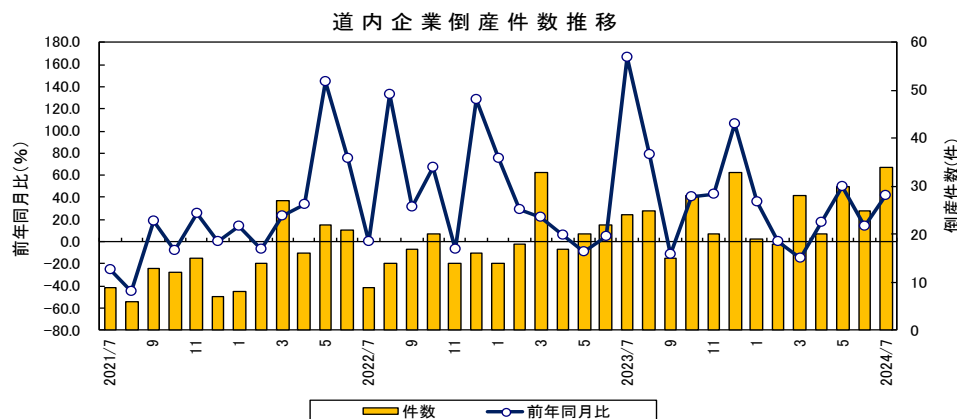
< 7月 >	
月間有効求人数(前年同月比)	▲6.1%
月間有効求職者数(前年同月比)	+1.8%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した ～

7月の倒産件数は34件で、前年同月比+41.7%（10件増）と4か月連続で前年を上回った。また、負債総額は84.2億円で、同+247.1%と2か月ぶりに前年を上回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)